

令和3年度第3回大磯町文化財専門委員会議 議事録

1. 日 時 令和3年10月1日（金）
開会時間／午後2時 閉会時間／午後4時
2. 場 所 大磯町役場 4階 第2委員会室
3. 出席者
（委 員） 薄井和男／委員長
田尾誠敏／副委員長
山崎祐子／委員
田中徳久／委員
山崎鯛介／委員
※オンライン（ZOOM）にて出席

（事務局） 谷河かおり／生涯学習課長兼生涯学習館長
北水慶一／生涯学習課歴史・文化担当主幹兼郷土資料館副館長
東 真江／生涯学習課係長
原田睦子／生涯学習課主任主事
※対面にて出席
4. 傍聴者 なし
5. 教育長挨拶及び教育部長挨拶
自己紹介

（ 開 会 ）

・会議成立の確認
・会議公開の確認
・傍聴者有無確認
・資料の確認
6. 前回会議録の確認
7. 議事

議題（１）令和３年度文化財関連事業の進捗状況について

事務局から資料の説明を行った。

- ・文化財専門委員会議は、今年度は５回の会議開催を予定している。
- ・西小磯の七夕については、西小磯東は中止し、西小磯西は行事を縮小し７月３１日（土）、８月１日（日）に実施した。行事内容としては、竹飾りを作り、昼間に道祖神巡りを行う。竹神輿や七夕踊りは実施しない。県に実績報告書を提出した。
- ・指定文化財の保存管理について。釜口古墳周囲の除草を８月３０日に実施した。資料保存処理委託契約を９月１５日に結んだ。

主な質疑応答は以下のとおり

〔埋蔵文化財の照会件数の減少について〕

（委員）７月２日（金）に生涯学習課事務所が移転したが、７・８月の埋蔵文化財照会件数の減少原因は、移転場所の周知不足によるものか。

（事務局）生涯学習課の事務所移転後は、業者の利便を図る為、都市計画課が、事務所移転チラシの配布を含む埋蔵文化財の軽微な照会事務を行っている。都市計画課で対応した件数をカウントしていないため件数が減少したと考えられる。

議題（２）旧池田成彬邸（西園寺公望別邸跡）の町指定有形文化財の指定について（答申）

事務局から説明を行った。

- ・昭和７年に竣工した旧池田成彬邸（西園寺公望別邸跡）は、敷地内に西園寺公望別邸時代の石垣が保存継承されており、大磯の近代史を重層的に伝える遺構として高い価値を持つ。また、１９世紀後期の英国で興隆した住宅再興運動（ドメスティック・リバイバル）の影響が我が国にも及んでいたことを示す作品という点でも高い建築史的価値を持つことから、町有形文化財の指定の承認をお願いしたい。

委員から説明いただいた。

- ・町文化財としてどういう価値があるか、日本建築学会所蔵の建築設計図面をもとに詳細分析した。大磯の海浜別荘は明治期のものが多く、木造で簡素なものが多いなか、旧池田別邸は、昭和初期の重厚な鉄筋コンクリート造の洋館であり、英国式の温室が中心に据えられた特殊な構造をもつ。イギリスのドメスティック・リバイバルについても、詳細資料を用意していただき、ご説明いただいた。

文化財指定について承認された。

主な質疑応答は以下のとおり

〔文化財指定名称について〕

（事務局）昭和 20 年の空襲で麻布本邸が壊滅したあと、池田成彬は大磯に居を移したため、大磯の別邸ではなく大磯の邸宅としてはいかがか。

（委 員）文化財指定名称については、建物は元々麻布本邸に対しての別邸として設計されたため、旧池田成彬別邸である。

（事務局）了承した。

議題（３）町指定有形文化財 旧ホテル滄浪閣 ホール棟の指定事項の変更について（諮問）

- ・教育委員会教育長から文化財専門委員会議委員長宛に諮問書を提出し、事務局から説明を行った。

議題（４）その他

- ・次回の文化財専門委員会議は、11 月書面開催の予定。

（ 閉 会 ）